

タットン会 通信

2012.
9. 8

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することもできます。
※ 活動中などの写真掲載等をご辞退なさる方は、事務局員にお申し出ください！（事務局は青バッチです）
(8/25の参加費は、6,000円 義援金は、3,825円でした。 参加者総数は約50名でした。)



8月25日、残暑厳しく 体育館に入ると、乾いた空気で胸が苦しくなりそう～準備を始めるとジトーッ～と汗が湧いて出てきて、Tシャツはビショビショ状態。そんな中、今日のチーフの中川さんに「活動中の休憩はどうします？」ときくと「20分やったら、10分休憩っていうのはどうですか？」との即答。チーフとしての意気込みを感じました。もうひとりのチーフ足立さんは遠く町田から通っていて、この日も6時半には家を出てきて、鍵当番もやってくれました。そして、もう一人の大脇さん「いつもは見ることが出来ない全体の様子を見ることが出来て為になった」とのこと。足立さんも大脇さんも、この4月に県大生となつたばかりですが～前向きにタットンに取り組んでくださるので、嬉しい限りです。

114回目のタットンは、「熱中症にならないためには?」「活動中、気分が悪くなったら?」「お互いに、顔色も見ていきましょう！」などと確認してからスタートし、3人のチーフに見守られ～いつもよりも多く休憩と水分をとりながら行いました。

また、新しく、「夏の市民ボランティア体験」のパンフレットを見て1人、「タットン仲間からの紹介」3人～そのうち一人は教師になりたて時の卒業生（教師冥利に尽きます）、「読売新聞の記事を見て」1人の計5名のボランティアさんに参加頂きました。

とっても蒸し暑い体育館でしたが、幸いにも熱中症患者も出ることなく無事に終わることが出来ました。



初参加ボランティアさん



バドミントングループ分け

保護者様からのコメント

- ※1 この日、この場に チャレンジャーもボランティアさんもみんな一緒に溶け込んでいる。素敵な風景です。継続の賜、土台が出来ているから、新メンバーも違和感がない。カードの記録をたどってみると、今は亡きT父やH母による記載もあり年月を感じます。本当に皆さんありがとうございます！ 数えたら、T個人としては～これから欠席しなければ 3月にタットン会参加100回！ 休まず 来よう！！（T母）
- ※2 夏休み最後の（土）に参加でき、息子はとても楽しそうに汗びっしょりになりながら嫌がらず動いていました（相手がお姉さんなのも利点かな？）。異年齢交流で関われる場所があることを教えていただき、ありがとうございます。宿題に追われる中で、良いストレス解消になることでしょう。（O母）
- ※3 毎日Wi-Fiスポーツで卓球を特訓中です。まだまだふざけている事が多いのですが、目指せ「井上君」です。（I母） → そのほかにも感想のご協力をありがとうございました。

ひと夏の経験

今回「余暇活動」のコメントはお休みし、その代わり私がこの夏に体験したこととを載せさせていただきます。

施設見学・体験報告

私が今市立養護学校でお世話になって5年経ちました。毎年の夏休みには、職場体験や施設見学をさせていただいています。今までに～『京急ウィズ』でクリーニング体験（タットン会ホームページ通信バックナンバー70号で紹介）『わたぼうし作業所』『あまね作業所』見学、『ホットトライ』『フロムワン福祉園』『あおぞら作業

所』『手作りの店 朋』…での体験（通信81号で紹介）と海風の『ふう』の見学、昨年は『あんしん農園』『池子デイサービス』『第1やすらぎ作業所』の体験をさせていただき、『たけのこ作業所』の見学もさせていただきました。

さて今年の夏は、市立養護の児童生徒が放課後支援でお世話になっている三つの施設を見学・体験をさせてもらってきました。そのうち『キッズかしこ』さんと『ひかり』さんを紹介させていただきます。

「キッズかしこ」さんでは、多くの方に覚えてもらいややすい名前を考えていた中で～社長の旦那様の名前が「賢」を使っているというのと、手紙の中で「～かしこ」と使うことから覚えやすい名前を！～ということで付けられたそうです。普通の一軒家を改造し、すべてバリアフリーにしたそうです！障がいの子達を対象にするならば、すべての障がい児に対応していきたい～との趣旨の下、支援を始めたそうです。夏は午前中、ビニールプールを楽しんでいる様子。また、二階の部屋からは緊急避難用としての滑り台？もありました（写真右）。肢体不自由児童も、気持ちよさそうに過ごしていました。

「キッズかしこ」さん
の緊急避難用 滑り台



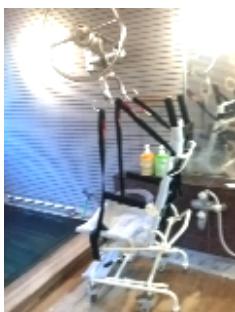
「ひかり」さんは、児童生徒の日中一時預かり支援を行っています。清光園・清光ホームといった福祉施設の運営を通して気づいた保護者のニーズに応え、始めたそうです。私もお手伝い体験をさせていただきましたが、20人という定員いっぱいの児童生徒を受け入れ、対応する姿に感動を覚えました。夏休みの午前中はプール遊びを基本として水の楽しさを味わい、午後は、思い思いに自分たちの趣味の時間とし～読書やDVD鑑賞、ミニトランポリンなど、自由な時間を過ごしていました。

今まで、肢体不自由児者の支援をする施設はほんの一部しかありませんでした。しかし、こうして少しずつでも障がいを考えて支援をしていこうとする場所が増えてきたことは望ましく～今後の社会に、とっても大きな可能性を感じさせてくださいました。

お忙しい中なのに見学や体験をさせていただき、これから支援を考える貴重な経験になりました。

ありがとうございました。

身体にも 心にも やさしいバリアフリーの温泉宿の話



脳梗塞で介護度4の母親と一緒に、温泉に行つてきました～。プールや温泉が大好きだった母ですが、介助無しでは入浴することが出来ません。そこで、インターネットなどで「車いすと入浴が出来る温泉」を調べました。私が調べたり、聞いたりした中では一日本では4カ所くらいしかありませんでした。

重度身障者用のオススメ宿を参考に、いくつかの宿に直接電話をして話を聞きしてみると～多少歩かなければならなかったり、身体を滑らすように入ることは出来るけれど～湯船から車いすに戻るのが大変そうだったり…難しそう。

そこで『信州湯田中温泉 旅館 はくら』のホームページをみてみると、長野県知事から表彰を受けておられる女将さんの写真や車いすをロープで吊し（入浴用車いすに移動しなければなりませんが 写真左）～リフトで持ち上げながら湯船に入る写真つきの説明もありました。電話で説明をお聞きすると、実に丁寧な対応だったので、即刻予約をお願いしました。

実際にやってみると、ホームページや電話で見て感じたのと同じ思い（バリアフリー）で過ごすことが出来ました。オススメで～す！館内に近くの養護学校の手作り作品もあり（ワインのコルクを使った作品 写真上）、思わず買ってきてしまいました。

《 本日 9月8日の時程 チーフ 針谷 大河原》



- 9:30 ペア組（カード確認）・体操、各種目へ
- 10:20 休憩（数回とるかも知れません）
- 10:35 後半の部
- 11:05 パラシート・片づけ・モップ、感想カード記入
- 11:20 手話コーナー・けがの確認・感想
- 11:40頃 解散（時間は多少前後します）

手話ソング『にじ』 「庭のシャベルが 一日ぬれて…♪」

《 2012年度の予定 》

116回目 10/13 決定	117回目 11/17or24	118回目 12/15or22
2013年 119回目 1/19or26	120回目 2/16or23	121回目 3/16or23or30

文責 佐藤一雄